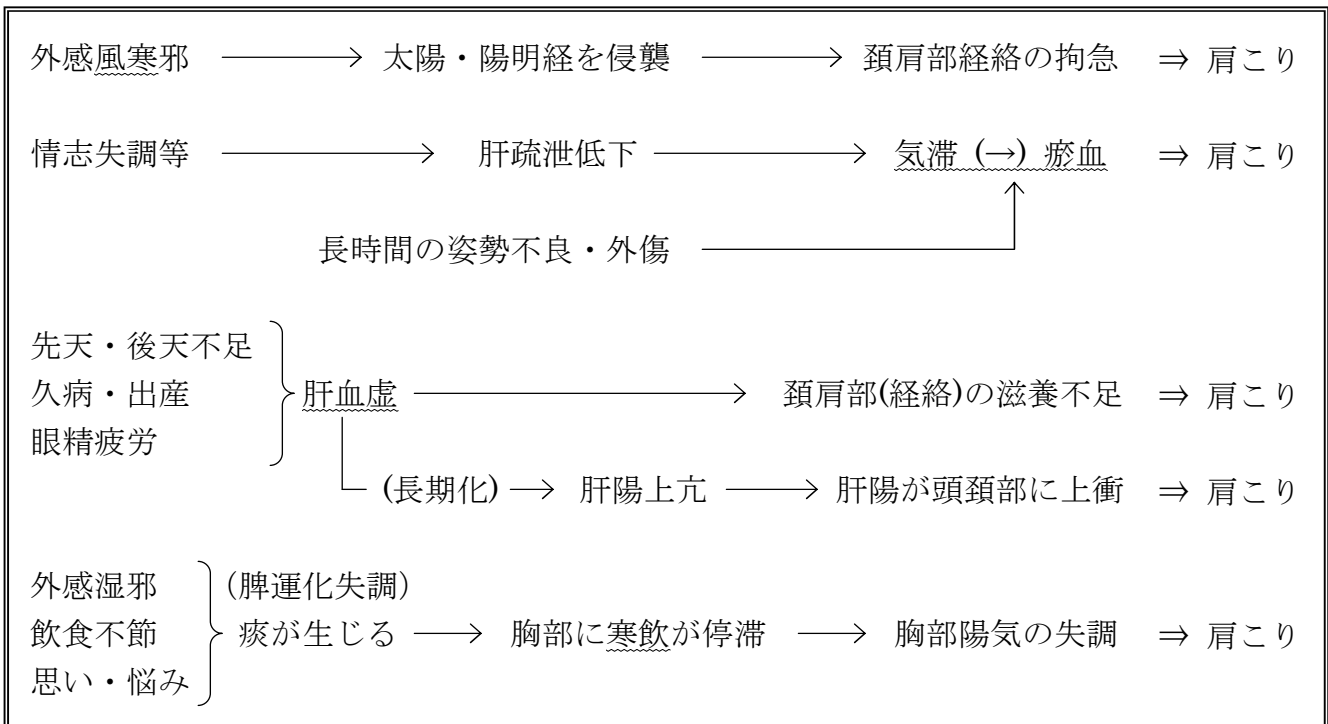


第18講 『肩こり』『頸肩腕痛』

第1節 『肩こり』

【分類】 { 実証：風寒、寒飲、気滞瘀血
 虚証：肝血虚
 虚实挟雑：肝陽亢進

【病因病機】



【症状と処方例】

近位選穴：

	経絡	意義	取穴部位
天柱	膀胱経	疏通経絡	瘻門穴の外1寸3分
風池	胆経		乳様突起下端と瘻門穴との中間
肩井	胆経		肩髃穴と大椎穴を結ぶ線のほぼ中間、乳頭線上
膏肓	膀胱経		第4・5胸椎棘突起間の外3寸

1. 風寒

[症状] 肩こり(肩の張り)、後頸部から背部にかけての張り。悪寒発熱、関節痛、全身倦怠感、脈浮緊。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
風門	膀胱経	疏風散寒	第2・3胸椎棘突起間の外1寸5分
肺俞	膀胱経		第3・4胸椎棘突起間の外1寸5分
合谷	大腸経		第1・2中手骨底間の下、陥凹部。第2中手骨より

2. 寒飲

[症状] 肩こり。胸悶、喘息、めまい、軽度の浮腫。舌苔白膩、脈濡緩。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
肺俞	膀胱経	温肺散寒	第3・4胸椎棘突起間の外1寸5分
陰陵泉	脾経	健脾利湿祛痰	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陥凹部
豊隆	胃経		外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部

3. 気滞瘀血

[症状] 肩こり。気分が塞ぐ、怒りっぽい、胸脇苦満・脹痛、月経不調。舌質暗紅または紫、瘀点瘀斑、脈弦洪。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
膈俞	膀胱経	行気活血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
太衝	肝経		足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
陽陵泉	胆経		腓骨頭前下際陥凹部

4. 肝血虚

[症 状] 肩こり。めまい、眼精疲労、目のかすみ、目の乾き、顔色は黄色く艶がない。舌淡、脈細。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
太 衝	肝 経	養血柔肝	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
血 海	脾 経		膝蓋骨内上角の上2寸
足三里	胃 経		外膝眼穴の下3寸

5. 肝陽上亢

[症 状] 肩こり。イライラして怒りっぽい、不眠、多夢、口苦、顔面紅潮または五心煩熱、盗汗、腰膝酸軟、遺精、舌紅苔黄・脈弦数、または舌紅苔少・脈弦細数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
太 谿	腎 経	滋陰潜陽	内果とアキレス腱の間陥凹部
太 衝	肝 経		足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
行 間	肝 経		足背、第1中足指節関節の前、外側陥凹部

第2節 『 頸肩腕痛 』

【 分類 】 { 新 病 : 痺 証
久 病 : 肝腎不足

【 症状と処方例 】

(1) 痺 証・・・『 痺 証 』(p.70～) 参照のこと

(2) 肝腎不足・・・痺証が長引くことにより起こる

[症 状] 頸部から肩、上肢にいたる疼痛、シビレ、凝り。めまい、耳鳴り、難聴、腰膝がだるく力が入らない、不眠、顔のほてり、筋力低下、筋萎縮、知覚障害を伴う。舌が細い、または舌質紅、舌苔少または無苔、脈弦数または細数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
天 柱	膀胱経	疏通経絡	瘻門穴の外1寸3分
風 池	胆 経		乳様突起下端と瘻門穴との中間
完 骨	胆 経		乳様突起中央後方、髪際入ること4分
太 谿	腎 経	滋補肝腎	内果とアキレス腱の間陥凹部
肝 兪	膀胱経		第9・10胸椎棘突起間の外1寸5分
阿是穴	***	****	* * * * * * * * * *

* 疼痛部位により関連経絡を決定し誘導穴を取る。

{ 手 の 陽 明 経 : [曲 池、手三里 等]
手・足の太陽経 : [天 宗、肩中兪、肩外兪、後 谿 等]
手・足の少陽経 : [天 髎、天 井、支 溝、懸 鐘、丘 墟 等]